



今日の笑顔

検査センター職員を順次紹介していくコーナーです。私たちは「顔の見える検査センター」を目指しています。先生方のご意見ご感想をぜひお聞かせ下さい。

♥ 71人目



ごみ拾い

フラワーフェスティバルでおもしろいイベントに参加しました。ある企業のブースで、ごみ袋と火バサミを手渡され、何のごみでもいいから拾って帰ると飲み物をもらえるというものです。初めのうちは全然見つけられなかったのですが、そのうち目が慣れてきて、ごみが目に付きだすと気になって気になって仕方がなくなってきました。ゴミ箱も何メートルか置きに設置されているにも関わらず、誰か一人が道路にごみを置いてしまうと連鎖反应的にそこがごみのたまり場になってしまうようです。

始めたからには袋をいっぱいにしたいと思い、歩行者天国をうろうろ歩いてまわり、お祭り自体もけっこう楽しみました。最後にごみの分別が待っていて一苦労でしたが、とてもおもしろい体験でした。誰でも参加できるイベントでしたので、興味がある方は是非来年参加してみてください。

♠ 72人目



「陰(かげ)の応援者」として

私の学生時代には、パソコンというものは画期的な機器でした。そんな最先端を行く仕事がしたく、関連企業に就職しました。そこでは私なりに頑張っていました。しかし、精力的に働いても会社の利益には貢献できたものの、精神的な満足は得られませんでした。

その頃、甥が入退院を繰り返し、甥がお世話になった病院で今の妻と知り合いました。看護師として働く妻の姿を見て羨ましく思い、「人との関わりが出来る仕事がしたい」とこの検査センターに転職しました。

業務課員として能率よく仕事をする事、そのことで私たちが患者さんの「陰の応援者」となり、微力ながら先生方や看護師さんたちのお役に立てるのではないかと考えています。これからも先生方や看護師さんたちの声に耳を傾け、現代医療に即した検査センター職員として頑張っていきたいと思います。